

令和7年度 教育活動関係者評価

藤枝順心高等学校附属幼稚園

1 幼稚園の教育目標

教育目標 豊かな心とたくましい体を持った子  
重点目標 思いやりのある子 がんばりのきく子 挨拶のできる子

2 評価項目の達成及び取組状況（評価 A：十分達成 80%以上 B：達成 79～60% C：成果がやや足りない 59～40% D：不十分 39%以下）

(1) 指導領域の評価

評価の項目と主な観点	職員評価		評価の理由(成果や課題・改善策)	関係者評価
① 健康安全・体力の向上 ・朝のマラソンや運動遊び等による体力や運動能力の向上 ・健康で安全な生活をしようとする態度や習慣 ・様々な食べ物に興味を持ち進んで食べようとする意欲	A	91.5%	◇昨年度よりやや下がったがほぼ同数であった。多くの先生が朝のマラソン体操を継続して取り組んでいることに自信を持っている。この取り組みがたくましい体づくりに結びついていると評価もしている。その効果がチャレンジウォークで6キロ近くの距離を歩き抜くことで表れている。また、本年度はマラソンが終わった後にも走る・スキップ、雲梯などに取り組み体力向上に努めている。年間通してマラソンをやりたいが、近年の猛暑によりできない日も多くなっているのが残念である。	A
② 人間関係・自立心 ・ものごとの善悪や決まりの大切さに気付いて行動する態度 ・友達の気持ちを大切にしようとする態度 ・人とかかわる楽しさを感じ、一緒にやろうとする態度	A	88.7%	◇昨年度より2.3ポイント下がった。幼児の人間関係づくりは担任が意図的に関わるのが大切であるが、子ども同士で起きた小さなトラブルを育てるよい機会ととらえ、学年の発達段階を考慮しながら自信を持って担任が指導している。また、行事をうまく活用していることもわかる。 ◇発達に課題を抱えた子どもへの対応が課題となっている。	A
③ 言葉 ・自分の思いを言葉で伝えようとする態度と力 ・話を聞こうとする意欲や態度 ・読み聞かせを楽しむ	A	87.0%	◇昨年度より3ポイント下がったが十分達成されている。幼児は語彙が少ない年齢である。とくに満3歳児や年少児ではその傾向が顕著である。担任は日常保育を通して語彙の獲得と友だちとのコミュニケーションの仕方を学ばせている。また、年中長では、行事をつくる中で、自分たちで話し合いをさせたり、考えさせたり指導している。保護者からの評価も96%と高い。 ◇英語サイボトリムについて、昨年来の課題（一部学年で行事に追われるため継続的に取り組めない）は改善できずに終わったように思われる。しかし、保護者からは取り組みを望む声が多い。	A
④ 表現 ・活動に興味や関心を持って取り組み心を動かされる姿 ・自分の思いを自分の方法で楽しみながら表現する喜び	A	90.9%	◇昨年度より1.5ポイント下がったが、十分達成できている。表現に関する活動は絵画（Happy Art）と発表会を中心に取り組んだ。Happy Artの取り組みでは、先生の指導も大変幅広いものになってきており、子どもとともに楽しんでいる様子が窺えた。また、発表会では子どもの表現力を引き出すよう、クラスでの話し合いなど様々な手立てを講じていた。 ◇保護者評価は97%と非常に高く、発表会や作品展を中心に評価する意見も多かった。	A

<p>⑤ 環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の動植物に興味関心を持って接しようとする態度</li> <li>・野菜や花の成長を喜び、世話をしようとする態度</li> <li>・環境とかかわって遊んだり遊びをつなげたりする態度</li> </ul>	A	90.4%	<p>◇昨年度より 4.1 ポイント上がった。自然環境という点では市街地にあるため難しい問題であり、例年課題に挙げられていた。しかし、高校の前庭への散歩や里山遠足を 2 回実施するなど園外保育を計画している。また、高校のモミジバフウの紅葉を写生したり、園内で集めたドングリを使って制作をするなど各学年が工夫をして取り組んだ。保護者の評価は 94% と高い。</p> <p>◇畑で栽培している野菜の観察を定期的に観察させたいとも考えている。</p>	A
--	---	-------	---	---

(2) 園の重点目標や活動についての評価

<p>1 がんばりのきく子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困難なことがあっても最後までやり遂げようとする姿</li> </ul>	A	91.3%	<p>◇昨年度より 0.3 ポイント下がったが、十分達成された。保護者の評価も 94% と高い。どの学年の子どもも、朝のマラソンや運動会、発表会、チャレンジウオーク、マラソン大会など大変よくがんばっていた。年長のマーチングでは暑い中でも弱音を吐くことなく頑張り抜いた。その姿は下級生の心を大いに刺激することができ、年長児へ憧れを抱くなどよい効果が生まれている。</p> <p>◇チャレンジウオークでは、ほぼ全員が蓮華寺池公園まで歩き通すことができ、自信につながっている。多くの保護者は評価しているが、ねらいを理解しない保護者から親子バス遠足を希望するなど残念な声も聞かれる。</p>	A
<p>2 思いやりのある子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のことを気遣い友達の気持ちを考えて行動する姿</li> </ul>	A	92.2%	<p>◇昨年度より 0.6 ポイント上がり、十分達成できている。担任は、保育や行事を通して友だち関係づくりを進めている。とくに運動会や発表会などの行事を通して、互いに思いやれる環境作りをしている。保護者の評価は 96% と高く、園の指導を評価している。</p> <p>◇課題は、支援を要する子どもが関わるトラブルにどう対処していくかである。</p>	A
<p>3 あいさつのできる子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から挨拶したり挨拶されたら挨拶を返したりする姿</li> </ul>	A	86.0%	<p>◇昨年度より 0.8 ポイント下がった。挨拶ができる子とできない子の差が激しい。帰りは元気に挨拶できるが、朝の挨拶がよくない傾向にある。「先取りあいさつ」など学年で様々な取り組みをしていて少しずつ成果が出ている。ののさまや始業式などでは大変元気のよい挨拶ができる。保護者評価は 94% と高い。</p> <p>◇保護者の中にも挨拶できない、また返せない人がいるので今後も啓発していきたい。</p>	A
<p>4 行事の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な行事での園児の姿、行事の計画・運営等の評価</li> </ul>	A	93.9%	<p>◇昨年度より 1.3 ポイント上がった。本園は行事が多く、先生たちは行事に追われて忙しいと感じているが、子どものためによりよいものにしようとする取り組みがわかる。また、行事を通して子どもが成長していることの手応えも感じている。保護者の評価も 99% と非常に高く、満足度が高いことがわかる。</p> <p>◇課題としては、行事に追われることなく、ゆったり保育をしたいと考えている担任も多い。また、職員の帰宅時間が遅くなることも課題である。</p>	A

<p>5 個に応じた指導 ・園児の理解に努めそれに応じた指導ができたか</p>	A	88.7%	<p>◇昨年度より 3.4 ポイント下がったが、十分達成されている。学級補助が増えてきたため、担任が個に関わる時間が増えてきている。また、職員全体で子どもの情報を共有し、支援のあり方を考えている。活動につまずいている子どもへ個別対応ができることも大きい。 ◇保護者から 97%という高い評価を得たことは、「わが子を大切にしてもらっている」という満足感の表れと思われる。</p>	A
<p>6 地域の施設や人材、自然を生かした指導 ・地域理解に努め地域を生かす指導ができたか</p>	A	87.0%	<p>◇昨年度より 5.7 ポイントと大きく上がった。本園の課題であるが年々改善されてきている。畑を利用しての野菜作りや学園の庭散歩や園外散歩や遠足、チャレンジウォークなど工夫して取り組んでいることが評価された。 ◇課題として、猛暑により 6 月～10 月までなかなか外出できないことがあがった。保護者の評価 93%と高く、限られた環境の中でも質の高い保育をしていることを評価してくれている。</p>	A
<p>7 保護者への対応や連携 ・保護者への連絡や対応、連携が適切であったか。</p>	A	92.0%	<p>◇昨年度より 0.4 ポイント下がった。担任は欠席やケガ、友だちとの関係など心配になることはできる限り丁寧に保護者に連絡している。また、職員間でも情報を共有して齟齬がないよう努めている。そのような丁寧で細やかな対応が保護者からも評価された。 ◇保護者の評価は 95%と昨年より大幅に上がった。</p>	A
<p>8 園内研究や研修の推進 ・指導力や保護者への対応力向上等の研修ができたか。</p>	A	88.0%	<p>◇昨年度より 2 ポイント下がったが、十分達成できた。3 年前から取り組んできた絵画研修 (Happy Art) はどの先生も自信を深めていることがわかる。反面、絵画以外の保育 (運動など) についても研修していきたいという要望もあった。 ◇園内研修より充実したものにしたいが、行事との関係もありなかなか研修の時間が確保できない課題もある。</p>	A
<p>9 校務分掌の適切さ ・仕事量と人数が適切で効果的な分掌となっていたか。</p>	A	84.8%	<p>◇昨年より 1.1 ポイントと上がったが、例年先生たちは分掌によって仕事量に差があることを指摘している。若手保育士が増えている中、それぞれが仕事を補完し合い対応していることがわかる。行事を計画する際に、分掌の仕事が集中し時間外で会議をすることも多かった。分掌の適切な配置をしたいが、行事の精選や改善をしなければ、なかなか負担を和らげることは難しい。</p>	A
<p>10 魅力ある園づくり ・就園先として選択される園づくり</p>	A	92.9%	<p>◇昨年度より 1.3 ポイント上がった。他園が園児獲得に苦労するなか、毎年安定的に園児を確保できていることが何より保護者から魅力ある幼稚園と評価されている証であると 職員は自信を持っている。多くの保護者が「順心を選んで本当によかった」と意見を寄せてくれた。 ◇園児数の減少とは反対に、預かり保育の利用者は急増している。預かり保育があるから入園の決め手としている保護者もいるため、よりよい預かり保育を考えていきたい。</p>	A

3 本年度の重点 「笑顔あふれる幼稚園」

1 笑顔あふれる保育や行事を提供できたか	A	94.8%	◇昨年度より 0.6 ポイント上がった。笑顔あふれる幼稚園 (Smile Smile Smile) が定着してきたことが大きい。子どもが笑顔になる＝保育者も笑顔で保育することを楽しみながら実践してきた担任の力が大きい。保護者の評価は 99% と非常に高く、園の取り組みを評価している。	A
2 子どもは笑顔で園生活を送っているか	A	94.0%	◇昨年度より 1.3 ポイント下がったが十分達成できた。子ども達は行事はもちろんのこと、普段の生活でも朝から笑顔で友だち同士楽しく遊んでいる姿が見られる。子ども同士だけでなく、先生達との人間関係のよさが笑顔につながっていると評価している。 ◇保護者の評価は 98% と高評価であった。多くの保護者から「子どもが幼稚園を大好きと笑顔で話してくれる」と評価している。	A
3 教職員は笑顔で子どもや保護者に接しているか	A	95.7%	◇昨年度とほぼ同じであり、十分達成できた。先生達は全員が Smile Smile Smile を合い言葉に自信を持って保育を進めていることがわかる。 ◇保護者評価は 99% と大変高い。新入園児の保護者も職員の笑顔が入園の決め手となったと答えてくれた。在園の保護者の自由記述にも職員の笑顔に対する好意的なものが多数寄せられている。	A

4 総合的な評価結果(園内評価委員会の評価を記載)

評価	理由
A	<p>&lt;評価委員会の評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模園であっても子どもと保護者に丁寧に寄り添い、信頼関係を築こうとする姿勢が見られる。また、子どもの主体性を大切にし、保育している先生の努力を感じる。今後も子どもが安心して生活できる環境と主体的な活動を支える指導の質を高めてほしい。</li> <li>○Smile Smile Smile の理念はとても素晴らしい。継続は力なりであり、まさしく実践していることがわかる。保護者評価とあわせて「順心ブランド・附属ブランド」を感じる。</li> <li>○保護者評価が高いことから、幼稚園の風通しのよさを感じる。それにしても保護者評価が 99% などは考えられない高さである。</li> <li>○反面、職員の評価が昨年より下がっている。若手の離職率が多いので、そこも考え原因の分析が求める必要がある。</li> <li>○保護者の自由意見には厳しいものもあるが、全ての保護者が納得する回答はない。しかし、少数意見も時には必要となることもある。</li> <li>○発表会を参観したが、ハイレベルな発表会であった。小学校へ就学する前に自分で考える力を育てることは有益に働くと思う。</li> <li>○近年、預かり保育の利用者が急増しているが、保護者の満足度を高めるためにも、預かり保育の課題を明確にし、充実していく必要がある。</li> <li>○チャレンジウォークの途中、子どもがお店屋さんで買い物経験をさせるという工夫もあるのではないかな。</li> <li>○孫の語彙の多さや体力がついてきたことから、教育目標の確かさを実感している。</li> <li>○保護者同士が語り合える場や連携できる場をつくっていくことが大切だと思う。</li> <li>○仕事の多忙化が叫ばれるが、保育の質を高めるため、若手保育士の人材確保のためにも工夫が求められる。</li> <li>○幼稚園で育った子どもが小中高へと同じ施設、理念のもとを連続して教育を受けられる環境があればと願う。</li> <li>○園児数の割に、鉄棒マットや図書などの数が附属していると思われる。充実を望みたい。</li> </ul>